

第7回 ニッケピュアハート エッセー大賞

<高校の部 佳作>

「母のような人になりたい」

前田陽菜

私の夢、それは母のような人間になること。『いつもありがとう。』『ひなの笑顔で母さん毎日がんばれるよ。』『ひなはひならしくいけばいいんだからね。』『母さんはいつもひなの味方だよ。』そんな優しい言葉を言ってくれる私の母。本当は、私の方がいつも母さんの笑顔と元気さにパワーをもらっています。私の母はまだ私が小さい頃幼稚園の先生をしていました。けれど父の仕事をきっかけに私の母も父の職場で働く事になった。私の家は、バイク屋で、自営だ。共働きのため、帰りはいつもおそく、夜ごはんは、21時が早い方な食事で、休みも一週間に一度月曜日だけだが、そんな月曜日も、母と父は働いている。そんないそがしい私の家は、家族5人が集まる事はそんなにない。けれどそんな中で、私の母は、家のそうじや、ご飯作り、洗濯をしたり、私の学校帰りの迎えなど毎日動きまわっている。そんな母と私の好きな場所は車の中だ。母が運転で、横に私。横ならびになるとなぜか不思議と口が進む。今日1日あった事を母に話すこともあれば、喧嘩することもある。けれど車を出て、家に帰ればかならず母は笑顔で迎えてくれる。そんな母に私は何度もすくわれてきました。そんな母に私はいつからか、母を尊敬し憧れていました。いつか私も、こんな優しいお母さんになりたい。いつも笑顔な人になりたい。小さな夢だけど私も母のような人間になるため、何があっても笑顔を絶やさず、本当に心から優しい人間になろうと思った。母に負けないくらいな人間になる事が私の夢です。